

2019事業年度決算報告書

事業報告・財務諸表

公益財団法人 市原市文化振興財団

2019事業年度 公益財団法人市原市文化振興財団事業報告 概要

当財団は、市原市の芸術文化、生涯学習及びコミュニティを振興するため、財団の持つ専門性や総合力を活かしながら、中長期経営方針「文化の香り高いまちづくりを目指して」の4本の柱である「文化芸術振興の拠点づくり」「鑑賞型事業の更なる充実」「市内全域を対象としたアウトリーチ型事業の充実」「文化芸術の主演となる人材並びに文化芸術スタッフの育成・支援」を基本方針として各種事業を展開しました。

2019事業年度については、令和2年2月までは概ね事業計画に則って事業を実施してまいりましたが、それ以降は各事業において新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けました。

公益目的事業については、自主文化事業及び受託文化事業として30事業を計画し、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）で鑑賞型・体験型事業の充実を図る公演を多数実施したほか、東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念事業としてオリンピックの講演会を実施しました。また、市内全域を視野に入れたアウトリーチ事業としてミニコンサートや市内小学校に出向いての伝統芸能普及事業、サイエンスショー等生涯学習の一助となる事業を実施しました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、令和2年3月に予定していた自主文化事業のうち2事業と受託文化事業のうち4事業については延期又は中止といたしました。

施設管理運営事業では、令和元年6月末にホール棟の舞台装置改修工事及びトイレの洋式化工事が終了し、7月以降は全館貸出しを実施し市民会館施設の有効活用や利用促進に努めてまいりましたが、令和2年3月以降については新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、ほぼ全ての施設予約がキャンセルとなりました。

また、収益目的事業についても、飲食提供事業や舞台看板、ピアノ調律などの利便性向上事業、各種公演のチケット受託販売などを実施したものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で公演の中止や延期が相次いだため、結果的に収益は減少しました。

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 自主文化事業

財団の自主事業として実施した文化事業で、市内の学校に出向いてのアウトリーチ型生涯学習事業や市内全域を視野に入れた公演、文化芸術に携わる人々を育成・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成事業などのさまざまな自主文化事業を実施しました。

令和2年3月に予定していた2公演については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、延期又は中止しました。

①自主文化事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	いちはら Artists Power	令和2年3月31日現在 登録アーティスト数 55組		アーティストの育成・支援を目的としたアーティストの登録・育成事業。
2	いちはら 文化振興ボランティア	令和2年3月31日現在 登録ボランティア数 26名 参加者延べ人数 13名		市民が気軽に文化活動に参加できる機会を提供し、文化活動を支援することを目的に実施したボランティアを育成する事業。
3	文化振興広報紙 「おんぷ」	年4回発行		財団主催の事業や市民会館で行われる公演の情報や施設の紹介など、市内の文化芸術の振興を目的に文化情報誌を発行する事業。
4	まちくる！ Vol. 21 「Chivamos! Flamenco Live」 Vol. 22 「秋のファミリーコンサート」 Vol. 23 「ピアノと歌のデュオコンサート」	令和元年 5月25日 アリオ市原 9月21日 ユニモちはら台 令和2年 2月15日 泉台コミュニティホール	150名 200名 70名	いちはらArtists Powerの登録アーティストによる音楽コンサートを身近な場所で鑑賞する機会を提供した育成・鑑賞型事業。 房総フラメンコプロジェクト『ちばもす』による踊りと歌とギターフラメンコライブ。 西脇陽子氏(クラリネット)、田中美里氏(ピアノ)による音楽コンサート。 萩原繭子氏(ピアノ)、山本智恵美氏(歌唱)による音楽コンサート。

	Vol. 24 「ハワイアンコンサート」	3月29日 八幡公民館	中止	
5	伝統芸能普及事業 「かぶき」ってなんだろう!?	令和元年 6月12日 辰巳台西小 辰巳台東小 6月13日 戸田小・寺谷小 光風台小 6月14日 加茂学園 鶴舞小 牛久小・内田小	362名 381名 242名 316名 228名 296名	日本の伝統芸能である歌舞伎を体験しながら鑑賞できる、未来を担う子供たちに日本古来の文化の普及・啓発を図ることを目的に実施した体験・鑑賞型事業。
6	出前講座サイエンスショー	6月26日 白金小 五所小 6月27日 若葉小 青葉台小 6月28日 有秋東小 有秋南小 有秋西小	321名 262名 360名 403名 420名 399名	実験を通して子供たちに科学の面白さ・不思議さを伝える目的で、米村でんじろうサイエンスプロダクションから講師を招聘し、財団の音響、照明技術を用いて実施した体験・鑑賞型事業。
7	東京2020オリンピック・パラリンピック 開催記念事業 「吉田沙保里トークショー」	11月16日 大ホール	1,033名	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を記念し、市原市民に高度な舞台芸術や生涯学習に触れる機会を提供することで、文化芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。 オリンピックの吉田沙保里氏を招き、「夢を持ち続けることの大切さ～レスリングが教えてくれたこと～」をテーマとした講演。

	『砂の器』シネマコンサート	令和2年 3月20日 大ホール	延期	映画『砂の器』の映像とともにオーケストラが生演奏する公演を実施することで、市民に高度な舞台芸術に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞型事業。
8	ブラバン・ディズニーコンサート	1月19日 大ホール	585名	ディズニーの名曲を吹奏楽団が演奏する公演を実施することで、芸術文化の普及を目的とした鑑賞型事業。
9	吉田正 記念オーケストラ 元気が出るコンサート	2月1日 大ホール	1,054名	吉田正氏の楽曲をオーケストラが演奏する公演を実施することで、市民に舞台芸術に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞型事業。
10	出前寄席 三遊亭王楽独演会	2月8日 夢ホール 2月9日 ちはら台コミュニティセンター	114名 96名	古典芸能である落語を身近な場所で実施することで、市原市内の芸術文化の普及を目的とした鑑賞型事業。

②共催公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	市原フィルハーモニー 管弦楽団定期演奏会	令和元年 7月14日 大ホール	1,252名	市内のアマチュア管弦楽団の公演を実施することで、音楽文化の普及と市民の文化活動への支援を目的とした鑑賞型事業。
2	恐竜どうぶつ園 (2回公演)	7月31日 大ホール	1,867名	恐竜の歴史文化を学べる恐竜ショーの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台芸術や生涯学習に触れる機会の提供を目的とした鑑賞型事業。
3	市原市楽友協会 市民コンサート	12月1日 大ホール	673名	市内の音楽愛好団体の公演を実施することで、音楽文化の普及と市民の文化活動への支援を目的とした鑑賞型事業。
4	出光興産コンサート みらいを奏でる音楽会	12月14日 大ホール	1,100名	プロの吹奏楽アーティストの公演を実施することで、市民の音楽文化の発展とコミュニティの振興を目的とした鑑賞型事業。

③支援事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	市原ハワイアンフラ フェスティバル	令和元年 5月19日 上総更級公園	1,000名	市原ハワイアンフラ協会が行う文化イベントで、当財団が音響等の技術支援を実施した。

(2) 受託文化事業（指定管理事業）

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館施設を市原市の文化の拠点と位置づけ、次の事業を実施しました。

令和2年3月に予定していた4公演については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、延期又は中止しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	和紙ちぎり絵教室	令和元年 5月19日 大会議室	52名	日本の芸術的なちぎり絵を学ぶ機会を提供することで、文化芸術の振興を目的とした参加型事業。
2	古市憲寿講演会	6月16日 大会議室	75名	テレビでお馴染みの古市憲寿氏による講演会を実施することで、生涯学習の振興を目的とした鑑賞型事業。
3	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽コンサート ～3歳からの クラシック～	7月7日 小ホール	401名	3歳からの子供を対象に室内管弦楽コンサートを開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体験をすることで、未来を担う子供達にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうことを目的とした体験・鑑賞型事業。
4	おかあさんといっしょ (2回公演)	7月13日 大ホール	2,679名	テレビでお馴染みの子供に人気の着ぐるみの公演を実施することで、未来を担ういちはらの子供達に生涯学習の機会を与えるとともに、情操教育の一助となる鑑賞型事業。
5	市民会館探検ツアー (2回実施)	7月27日 大ホール	97名 ミニコンサート 294名	市民会館施設や舞台の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施した参加・体験型事業。

6	山田路子アンサンブル Live	8月24日 小ホール	142名	篠笛や和太鼓など和楽器を主としたアンサンブルコンサートを実施することで、市民に伝統的な和楽器に触れる機会を提供し、音楽芸術文化を振興することを目的とした鑑賞型事業。
7	市原市文化祭 ※市民会館で実施された事業のみ掲載 「三曲大会」 「合唱祭」 「吟詠剣詩舞大会」 「古典舞踊大会」 「謡曲大会」 「太鼓の輪」 「工芸展」 「民謡秋祭り」 「民舞大会」 「短歌大会」	9月29日 小ホール 9月29日 大ホール 10月12日 小ホール 10月12日 大ホール 10月13日 小ホール 10月13日 大ホール 10月17～20日 会議室棟 10月27日 小ホール 10月27日 大ホール 10月27日 会議室棟	200名 700名 台風の影響により中止 台風の影響により中止 台風の影響により中止 1,100名 300名 500名 60名	地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。 市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器を用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露した文化公演。 市民や団体が女声、男声、混声、手話コーラスなどの合唱を披露した文化公演。 市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩舞という古武道の格式と詩の心を表現する文化公演。 市民や団体が歌舞伎舞踊などの古典舞踊を披露する文化公演。 幅広い世代の市民や団体が能の詞章を謡う謡曲を中心に披露する文化公演。 市民や団体が和太鼓の迫力と魅力、そして楽しさを披露する文化公演。 市民が製作した工芸作品を展示した文化事業。 市民や団体が豊作、祭などに彩られる秋を舞台上で唄、三味線等で表現した文化公演。 市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物姿で踊りを披露した文化公演。 市民が応募した短歌を発表した文化事業。

	「郷土芸能大会」	11月10日 小ホール	300名	市内各地域で伝承される郷土芸能である「おはやし」や「ひょっこおどり」などを披露した文化公演。
	「ハワイアンフラ祭」	11月10日 大ホール	500名	市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、披露した文化公演。
	「歌謡祭」	12月15日 小ホール	300名	市民や団体が日頃から練習している歌謡を披露した文化公演。
	「バレエ公演」	12月15日 大ホール	600名	市民や団体がバレエの華麗な舞を披露した文化公演。
8	生涯学習支援 市原市中学校 音楽発表会	10月21日 大ホール	1,500名	市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会の活性化を図ることを目的とした参加・鑑賞型事業。
	市原市小学校 音楽発表会	10月23日 大ホール	1,500名	
	特連文化 フェスティバル	12月5日 大ホール	1,500名	市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親しむことで地域コミュニティの交流と教育の向上並びに福祉の増進を図ることを目的とした参加・鑑賞型事業。
9	市民の日記念 夢の架け橋コンサート	11月3日 大ホール	822名	2019年度に各種コンクール等で活躍した市内小・中・高校の吹奏楽部等、県立津田沼高校合唱部を招き、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的とした参加・鑑賞型事業。
10	人権・男女共同参画 フォーラム	12月8日 小ホール	248名	市原市人権・男女共同参画フォーラム実行委員会と協働して、市民の人権意識の高揚を図り、男女をめぐる意識改革を推進するために千葉公慈氏を招聘し実施した文化講演。
11	いちばら名人寄席 三遊亭小遊三 春風亭一之輔	令和2年 2月2日 小ホール	465名	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する場を提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機会をつくるとともに、豊かな文化と芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。

12	市民参加型事業 Ichihara ストリートダンスイベント「ZONE」 (2回公演)	3月1日 大ホール	中止	ストリートダンスを愛好する市民や団体と財団が協働して作り上げる熱気あふれるステージを披露する市民参加型事業。
13	相川七瀬コンサート	3月14日 大ホール	延期	人気歌手の公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
14	平原綾香コンサート	3月15日 大ホール	延期	人気歌手の公演を実施することで、市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
15	野村萬斎 狂言の世界	3月24日 大ホール	延期	狂言の公演を実施することで、市民に日本の伝統的な舞台芸術を鑑賞する機会を提供することを目的とした鑑賞型事業。

2 施設管理運営事業

(1) 施設管理及び施設貸出

①ホール・会議室等の貸出業務

施設貸出業務は、ホール棟の6月末までの舞台装置改修等工事による休館と新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設利用キャンセルにより、利用件数及び利用者数ともに大幅に減少しました。

ア. 利用件数

(単位：件)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
平成30年度	169	188	1,300	106	1,763
2019年度	142	157	1,268	97	1,664
前年度対比	84.0%	83.5%	97.5%	86.2%	91.5%

イ. 利用者数

(単位：人)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
平成30年度	105,100	44,169	40,866	7,100	197,235
2019年度	85,017	31,537	39,958	5,153	161,665
前年度対比	80.9%	71.4%	97.8%	72.5%	82.0%

②保守点検・管理業務委託

利用者の安全、安心を最優先に考え、設備機器等の保全を図るため、下記のとおり保守点検等を委託しました。また、修繕が必要な箇所については、優先順位を付けて限られた修繕予算を有効に活用しました。

番号	委託業務名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	昇降機保守業務委託
4	消防設備保守業務委託
5	ホール舞台保守業務委託
6	ホール照明保守業務委託
7	放送装置保守業務委託
8	ピアノ保守業務委託
9	一般廃棄物処理業務委託
10	産業廃棄物処理業務委託
11	ストレージタンク性能検査に伴う受験準備整備委託
12	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
13	枯木伐採業務委託

II 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

飲食提供事業は、令和2年1月までの利用件数は堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による予約キャンセルにより、利用件数及び利用人数が大幅に減少しました。

①利用件数

(単位：件)

区分	パーティー・会議食等	(うちパーティー)
平成30年度	153	103
2019年度	134	96
前年度対比	87.6%	93.2%

②利用人数

(単位：人)

区分	パーティー・会議食等	(うちパーティー)
平成 30 年度	8,710	6,634
2019 年度	7,084	4,979
前年度対比	81.3%	75.1%

③飲食提供業務委託

委託業者名	委託期間
株式会社千葉正直屋	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施しました。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

市原市市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律等の利用者サービス事業を実施しました。

III その他の事業

施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施しました。

IV その他

1 理事会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第 1 回	元年 5 月 14 日	第 1 号	平成 30 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告及び収支決算について	原案承認
		第 2 号	公益財団法人市原市文化振興財団諸規程の一部改正について	原案可決

		第 3 号	2019 事業年度第 1 回評議員会の開催について	原案可決
		第 4 号	収支相償に向けた剰余金費消の方向性について	原案可決
第 2 回	5 月 30 日	第 5 号	常務理事（業務執行理事）の選定について	原案可決
第 3 回	9 月 14 日	第 6 号	2019 事業年度第 2 回評議員会の開催について	原案可決
第 4 回	10 月 28 日	第 7 号	収支相償に向けた剰余金費消計画（案）について	原案可決
		第 8 号	2019 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団補正予算（第 1 号）について	原案承認
第 5 回	12 月 23 日	第 9 号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程の一部改正について	原案可決
第 6 回	2 年 3 月 5 日	第 10 号	令和 2 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画について	原案承認
		第 11 号	令和 2 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算について	原案承認
		第 12 号	公益財団法人市原市文化振興財団嘱託職員及び臨時職員等就業規則の一部改正について	原案可決
		第 13 号	公益財団法人市原市文化振興財団事業年度雇用職員給与規程の制定について	原案可決
		第 14 号	公益財団法人市原市文化振興財団諸規程の一部改正について	原案可決
		第 15 号	2019 事業年度第 3 回評議員会の開催について	原案可決

第 2 回、第 3 回及び第 5 回は決議の省略による。

2 評議員会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第 1 回	元年 5 月 30 日	第 1 号	平成 30 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告及び収支決算について	原案承認
		第 2 号	理事の選任について	原案可決
第 2 回	9 月 28 日	第 3 号	評議員の選任について	原案可決
		第 4 号	公益財団法人市原市文化振興財団定款の一部改正について	原案可決
第 3 回	2 年 3 月 12 日	第 5 号	理事の選任について	原案可決

第 2 回及び第 3 回は決議の省略による。

3 職員に関する事項

①研修会・講習会

市民サービスの向上と職員の自己啓発、スキルアップを目的に、全国公立文化施設協会が実施するアートマネジメント研修会をはじめ、様々な研修会、講習会等で知識の習得や技術の向上に努めるとともに、県内で同様の施設を管理運営している団体との情報交換会に参加しました。

②職員数の推移

区分	平成29年度末（人）		平成30年度末（人）		2019年度末（人）	
	一般職	臨時職等	一般職	臨時職等	一般職	臨時職等
7			1		1	
6	1		1		1	
5	1					
4	2		3		3	
3	2		1		1	
2					2	
1	3		3		1	
臨時職等		5		5		4
計	9	5	9	5	9	4

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	164,638,058	138,244,102	26,393,956
未収金	15,847,368	15,715,125	132,243
前払金	658,796	68,040	590,756
立替金	123,262	122,227	1,035
繰延税金資産	3,522,850	3,237,863	284,987
流動資産合計	184,790,334	157,387,357	27,402,977
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	68,613,380	64,386,149	4,227,231
自主文化事業安定継続実施準備資金	40,097,000	60,000,000	△ 19,903,000
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金	0	12,000,000	△ 12,000,000
特定資産合計	108,710,380	136,386,149	△ 27,675,769
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2,023,572	2,023,572	0
什器備品	19,595,200	19,257,200	338,000
減価償却累計額	△ 17,960,119	△ 18,304,122	344,003
電話加入権	101,300	101,300	0
ソフトウェア	358,292	0	358,292
受入保証金定期	900,000	900,000	0
その他固定資産合計	5,018,245	3,977,950	1,040,295
固定資産合計	116,728,625	143,364,099	△ 26,635,474
資産合計	301,518,959	300,751,456	767,503
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	80,200	1,418,645	△ 1,338,445
未払金	7,015,958	7,527,415	△ 511,457
前受金	18,117,200	0	18,117,200
預り金	8,711,375	6,839,999	1,871,376
未払法人税等	1,048,000	1,356,800	△ 308,800
未払消費税等	1,178,700	1,656,300	△ 477,600
流動負債合計	36,151,433	18,799,159	17,352,274
2. 固定負債			
退職給付引当金	68,613,380	64,386,149	4,227,231
受入保証金	900,000	900,000	0
固定負債合計	69,513,380	65,286,149	4,227,231
負債合計	105,664,813	84,085,308	21,579,505
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	192,854,146	213,666,148	△ 20,812,002
(うち特定資産への充当額)	40,097,000	72,000,000	△ 31,903,000
正味財産合計	195,854,146	216,666,148	△ 20,812,002
負債及び正味財産合計	301,518,959	300,751,456	767,503

正味財産増減計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科	目	当年度	前年度	増減
I	一般正味財産増減の部			
	1. 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	300	300	0
	基本財産受取利息	300	300	0
	特定資産運用益	6,446	3,999	2,447
	特定資産受取利息	6,446	3,999	2,447
	事業収益	203,369,347	243,902,973	△ 40,533,626
	施設管理事業収益	118,938,021	119,179,832	△ 241,811
	受託文化事業収益	17,250,474	39,962,247	△ 22,711,773
	自主文化事業収益	2,394,563	12,962,897	△ 10,568,334
	施設貸出事業収益	39,646,004	39,726,615	△ 80,611
	飲食提供事業収益	23,231,609	28,558,088	△ 5,326,479
	受託販売事業収益	626,705	419,201	207,504
	利便性向上事業収益	1,281,971	3,094,093	△ 1,812,122
	雑収益	110	196	△ 86
	雑収益	12	98	△ 86
	受取利息	98	98	0
	経常収益計	203,376,203	243,907,468	△ 40,531,265
	(2) 経常費用			
	事業費	221,922,384	243,170,029	△ 21,247,645
	出演料	28,947,581	50,768,227	△ 21,820,646
	仕入	1,006,007	24,736,538	△ 23,730,531
	給料手当	71,351,051	71,245,562	105,489
	役員報酬	9,014,664	4,593,358	4,421,306
	退職給付費用	4,184,959	6,806,188	△ 2,621,229
	法定福利費	12,448,337	11,887,584	560,753
	福利厚生費	455,003	487,584	△ 32,581
	旅費交通費	44,684	59,536	△ 14,852
	消耗品費	4,215,467	3,512,534	702,933
	印刷製本費	0	0	0
	図書購入費	42,491	47,002	△ 4,511
	委託料	69,904,230	49,566,020	20,338,210
	賃借料	3,612,131	3,761,005	△ 148,874
	燃料費	64,375	52,608	11,767
	広告宣伝費	6,203,629	5,780,817	422,812
	通信運搬費	2,158,527	1,842,228	316,299
	租税公課	287,200	214,600	72,600
	修繕費	3,693,778	3,482,089	211,689

科	目	当年度	前年度	増減
	支払手数料	1,597,798	1,514,984	82,814
	負担金	182,700	182,700	0
	賃金	233,326	195,790	37,536
	経理費	545,000	545,000	0
	保険料	310,070	276,680	33,390
	雑支出	436,372	1,029,815	△ 593,443
	減価償却費	983,004	581,580	401,424
	管理費	1,502,807	6,560,985	△ 5,058,178
	給料手当	720,705	719,640	1,065
	役員報酬	244,050	4,593,356	△ 4,349,306
	退職給付費用	42,272	68,749	△ 26,477
	法定福利費	125,733	803,757	△ 678,024
	福利厚生費	4,596	4,927	△ 331
	旅費交通費	39,753	42,091	△ 2,338
	修繕費	77,493	10,000	67,493
	印刷製本費	129,493	126,496	2,997
	交際費	0	10,000	△ 10,000
	消耗品費	1,156	2,050	△ 894
	広告宣伝費	0	0	0
	研修費	5,556	18,519	△ 12,963
	保険料	70,000	70,000	0
	雑支出	42,000	91,400	△ 49,400
	経常費用計	223,425,191	249,731,014	△ 26,305,823
	当期経常増減額	△ 20,048,988	△ 5,823,546	△ 14,225,442
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益	0	0	0
	経常外収益計	0	0	0
(2)	経常外費用	1	1,350,000	△ 1,349,999
	雑支出	0	1,350,000	△ 1,350,000
	固定資産除却損	1	0	1
	経常外費用計	1	1,350,000	△ 1,349,999
	当期経常外増減額	△ 1	△ 1,350,000	1,349,999
	税引前当期一般正味財産増減額	△ 20,048,989	△ 7,173,546	△ 12,875,443
	法人税、住民税及び事業税	1,048,000	1,356,800	△ 308,800
	法人税等調整額	△ 284,987	0	△ 284,987
	当期一般正味財産増減額	△ 20,812,002	△ 8,530,346	△ 12,281,656
	当期一般正味財産期首残高	213,666,148	222,196,494	△ 8,530,346
	当期一般正味財産期末残高	192,854,146	213,666,148	△ 20,812,002
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
	指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III	正味財産期末残高	195,854,146	216,666,148	△ 20,812,002

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公1	小計	収1	収2	他1	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	300	300	0	0	0	0	0	0	300
基本財産受取利息	300	300					0		300
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	6,446	6,446
特定資産受取利息		0					0	6,446	6,446
事業収益	138,583,058	138,583,058	23,231,609	1,908,676	39,646,004	0	64,786,289	0	203,369,347
施設管理事業収益	118,938,021	118,938,021					0		118,938,021
受託文化事業収益	17,250,474	17,250,474					0		17,250,474
自主文化事業収益	2,394,563	2,394,563					0		2,394,563
施設貸出事業収益		0			39,646,004		39,646,004		39,646,004
飲食提供事業収益		0	23,231,609				23,231,609		23,231,609
受託販売事業等収益		0		626,705			626,705		626,705
利便性向上事業収益		0		1,281,971			1,281,971		1,281,971
雑収益	0	0	90	0	0	0	90	20	110
雑収益		0					0	12	12
受取利息		0	90				90	8	98
経常収益計	138,583,358	138,583,358	23,231,699	1,908,676	39,646,004	0	64,786,379	6,466	203,376,203
(2) 経常費用									
事業費	164,187,381	164,187,381	22,107,395	1,745,190	33,882,418	0	57,735,003		221,922,384
出演料	28,947,581	28,947,581					0		28,947,581
仕入		0	520,759	485,248			1,006,007		1,006,007
給料手当	55,495,303	55,495,303	1,441,421	720,705	13,693,622		15,855,748		71,351,051
役員報酬	7,011,421	7,011,421	182,114	91,050	1,730,079		2,003,243		9,014,664
退職給付費用	3,254,970	3,254,970	84,544	42,272	803,173		929,989		4,184,959
法定福利費	9,682,066	9,682,066	251,476	125,733	2,389,062		2,766,271		12,448,337
福利厚生費	353,888	353,888	9,194	4,596	87,325		101,115		455,003

旅費交通費	43,228	43,228	1,456				1,456		44,684
消耗品費	3,451,067	3,451,067	6,605		757,795		764,400		4,215,467
印刷製本費	0	0	0		0		0		0
図書購入費	31,868	31,868			10,623		10,623		42,491
委託料	37,954,070	37,954,070	19,383,070	255,000	12,312,090		31,950,160		69,904,230
賃借料	3,441,832	3,441,832	34,000	12,909	123,390		170,299		3,612,131
燃料費	48,282	48,282			16,093		16,093		64,375
広告宣伝費	6,096,048	6,096,048	107,581		0		107,581		6,203,629
通信運搬費	1,686,450	1,686,450	58,344		413,733		472,077		2,158,527
租税公課	226,250	226,250	5,000	400	55,550		60,950		287,200
修繕費	2,770,332	2,770,332			923,446		923,446		3,693,778
支払手数料	1,378,528	1,378,528			219,270		219,270		1,597,798
負担金	131,544	131,544	5,481	1,827	43,848		51,156		182,700
賃金	233,326	233,326					0		233,326
経理費	392,400	392,400	16,350	5,450	130,800		152,600		545,000
保険料	232,553	232,553			77,517		77,517		310,070
雑支出	436,372	436,372					0		436,372
減価償却費	888,002	888,002			95,002		95,002		983,004
管理費								1,502,807	1,502,807
給料手当								720,705	720,705
役員報酬								244,050	244,050
退職給付費用								42,272	42,272
法定福利費								125,733	125,733
福利厚生費								4,596	4,596
旅費交通費								39,753	39,753
修繕費								77,493	77,493
印刷製本費								129,493	129,493
交際費								0	0
消耗品費								1,156	1,156
広告宣伝費								0	0
研修費								5,556	5,556
保険料								70,000	70,000

雑支出								42,000	42,000
経常費用計	164,187,381	164,187,381	22,107,395	1,745,190	33,882,418	0	57,735,003	1,502,807	223,425,191
当期経常増減額	△ 25,604,023	△ 25,604,023	1,124,304	163,486	5,763,586	0	7,051,376	△ 1,496,341	△ 20,048,988
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	1	1	0	0	0	0	0	0	1
固定資産除却損	1	1					0		1
経常外費用計	1	1	0	0	0	0	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1
他会計振替額	3,331,519	3,331,519				△ 3,331,519	△ 3,331,519		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 22,272,505	△ 22,272,505	1,124,304	163,486	5,763,586	△ 3,331,519	3,719,857	△ 1,496,341	△ 20,048,989
法人税、住民税及び事業税		0				1,048,000	1,048,000		1,048,000
法人税等調整額		0				△ 284,987	△ 284,987		△ 284,987
当期一般正味財産増減額	△ 22,272,505	△ 22,272,505	1,124,304	163,486	5,763,586	△ 4,094,532	2,956,844	△ 1,496,341	△ 20,812,002
一般正味財産期首残高	191,455,771	191,455,771	41,367,311	13,168,242	56,133,243	△ 62,366,156	48,302,640	△ 26,092,263	213,666,148
一般正味財産期末残高	169,183,266	169,183,266	42,491,615	13,331,728	61,896,829	△ 66,460,688	51,259,484	△ 27,588,604	192,854,146
II 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	172,183,266	172,183,266	42,491,615	13,331,728	61,896,829	△ 66,460,688	51,259,484	△ 27,588,604	195,854,146

※事業区分について

公益目的事業(公1)・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等 (収1)・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等 (収2)・・・その他公益目的事業の推進に資する事業(チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業)

収益事業等 (他1)・・・市原市から指定された施設の管理運営事業(公益目的以外の施設貸出事業)

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

ソフトウェア 定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 自己都合退職による期末退職給与の要支給額100%に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税抜き方式によっている。

(4) 税効果会計の適用 法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な正味財産増減額を計上するため税効果会計を適用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	64,386,149	4,227,231	0	68,613,380
自主文化事業安定継続実施準備資金	60,000,000	0	19,903,000	40,097,000
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金	12,000,000	0	12,000,000	0
小 計	136,386,149	4,227,231	31,903,000	108,710,380
合 計	139,386,149	4,227,231	31,903,000	111,710,380

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債の対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	—
小 計	3,000,000	3,000,000	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	68,613,380	0	0	68,613,380
自主文化事業安定継続実施準備資金	40,097,000	0	40,097,000	0
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金	0	0	0	0
小 計	108,710,380	0	40,097,000	68,613,380
合 計	111,710,380	3,000,000	40,097,000	68,613,380

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法による減価償却を行っているもの)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア(公益法人会計DX)	383,884	25,592	358,292
ソフトウェア(給与DX)	201,883	201,883	0
ソフトウェア(固定資産DX)	152,533	152,533	0
ソフトウェア(チケット販売システム)	4,600,000	4,600,000	0
ソフトウェア(調定用ソフト)	936,000	936,000	0
合 計	6,274,300	5,916,008	358,292

5 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	64,386,149	4,227,231	0	0	68,613,380

6 税効果会計関係

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

一時差異名	前期末残高	当期末残高	増減額
未払事業税	103,661	73,204	△ 30,457
退職給与引当金	3,134,202	3,449,646	315,444
合 計	3,237,863	3,522,850	284,987

7 関連当事者との取引

該当事項はありません。

8 重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2、3に記載をしているので、内容の記載を省略している。

2 引当金の明細

財務諸表に対する注記5に記載をしているので、内容の記載を省略している。

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	手元保管	運転資金、チケット払戻資金	1,585,000
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	〃	132,891,500
〃	千葉興業銀行五井支店	〃	940,648
〃	京葉銀行国分寺台支店	〃	459,796
〃	千葉信用金庫五井支店	〃	156,468
〃	館山信用金庫若宮支店	〃	132,679
〃	みずほ銀行五井支店	〃	700
〃	市原市農業協同組合本店	〃	130,192
〃	千葉銀行市原市役所出張所	〃	28,341,075
未収金		3月分指定管理料他	15,847,368
前払金		令和2年度文化事業費	658,796
立替金		労働保険料立替金	123,262
繰延税金資産		税効果会計分	3,522,850
流動資産合計			184,790,334
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	みずほ銀行五井支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	3,000,000
基本財産合計			3,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	職員の退職手当支払準備	4,227,231
定期預金	みずほ銀行五井支店	〃	7,000,000
	千葉銀行市原市役所出張所	〃	10,000,000
	千葉興業銀行五井支店	〃	10,000,000
	京葉銀行国分寺台支店	〃	10,000,000
	千葉信用金庫五井支店	〃	7,386,149
	館山信用金庫若宮支店	〃	10,000,000
	市原市農業協同組合本店	〃	10,000,000
			68,613,380
自主文化事業安定継続実施準備資金			
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	自主文化事業支払準備	40,097,000
東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業準備資金			
普通預金	千葉銀行市原市役所出張所	記念事業支払準備	0
特定資産合計			108,710,380
(3) その他固定資産			
車両運搬具		公用車	2,023,572
什器備品		チケット予約システム他	19,595,200
減価償却累計額			△ 17,960,119
電話加入権			101,300
ソフトウェア		会計システム他	358,292
受入保証金定期	千葉銀行市原市役所出張所	飲食提供事業保証金	900,000
その他固定資産合計			5,018,245
固定資産合計			116,728,625
資産合計			301,518,959
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金		3月分仕入	80,200
未払金		委託料他	7,015,958
前受金		令和2年度文化事業チケット代	18,117,200
預り金		払戻チケット、受託チケット預り金	8,711,375
未払消費税等			1,178,700
未払法人税等			1,048,000
流動負債合計			36,151,433
2. 固定負債			
退職給付引当金		職員の退職手当支払準備	68,613,380
受入保証金		飲食提供事業保証金	900,000
固定負債合計			69,513,380
負債合計			105,664,813
正味財産			195,854,146